

ウプトラビ錠 0. 2 m g
ウプトラビ錠 0. 4 m g
ウプトラビ錠 0. 8 m g

【この薬は？】

販売名	ウプトラビ錠 0. 2 m g Uptravi Tablets 0. 2 m g	ウプトラビ錠 0. 4 m g Uptravi Tablets 0. 4 m g	ウプトラビ錠 0. 8 m g Uptravi Tablets 0. 8 m g
一般名	セレキシパグ		
含有量 (1錠中)	0. 2 m g	0. 4 m g	0. 8 m g

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」
<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、選択的プロスタサイクリン受容体（IP 受容体）作動薬と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、肺動脈の血圧を下げます。
- ・次の病気の人に処方されます。

○肺動脈性肺高血圧症

○外科的治療不適応又は外科的治療後に残存・再発した慢性血栓塞栓性肺高血圧症

- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・過去にウプロラビ錠に含まれる成分で過敏症のあった人
- ・肝臓に重度の障害のある人
- ・肺静脈閉塞性疾患のある肺高血圧症の人

○次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。

- ・低血圧の人
- ・出血しやすい人
- ・腎臓に重い障害（透析治療を受けている人も含む）がある人
- ・肝臓に軽度または中等度の障害がある人
- ・妊婦または妊娠している可能性のある人
- ・授乳中の人

○この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

通常、成人の飲む量および回数は、次のとおりです。

販売名	ウプロラビ錠 0. 2 m g	ウプロラビ錠 0. 4 m g	ウプロラビ錠 0. 8 m g
一回量	開始量：0. 2 m g 維持用量：7 日以上の間隔で0. 2 m g ずつ増量して決定する 最高用量：1. 6 m g		
飲む回数	1 日 2 回食後に飲みます		

通常、2 歳以上の幼児または小児の肺動脈性肺高血圧症患者で飲む量および回数は、次のとおりです。

体重		9 k g 以上 2 5 k g 未満	2 5 k g 以上 5 0 k g 未満	5 0 k g 以上
一回量	開始量	0. 1 m g	0. 1 5 m g	0. 2 m g
	維持用量	7 日以上の間隔で 0. 1 m g ずつ増量 して決定する	7 日以上の間隔で 0. 1 5 m g ずつ増 量して決定する	7 日以上の間隔で 0. 2 m g ずつ増量 して決定する
	最高用量	0. 8 m g	1. 2 m g	1. 6 m g
飲む回数		1 日 2 回食後に飲みます		

- ・この薬による治療を開始した初期に、頭痛、下痢などの副作用が多く報告されており、特に小児においては嘔吐（おうと）も多く認められているため、症状を確認しながら少しずつ増量します。
- ・副作用のために減量する場合は、成人または体重が50kg以上の小児では原則として1回0.2mgずつ減量します。減量した後に再び増量する場合は、再増量までに8日以上の間隔をあげ、副作用があらわれていないか確認しながら増量します。
- ・3日以上中断した場合、再開するときには中断する前よりも少ない量から再開することがあります。
- ・この薬を中止する場合は、症状に注意しながら少しずつ減量します。
- ・肝臓に中等度の障害のある人は、飲む回数を1日1回に減らして開始し、飲む間隔や増量する間隔を延長したり、最高用量を減らしたりすることがあります。
- ・肝臓の代謝酵素であるCYP2C8の阻害作用を有する薬剤（クロピドグレル含有製剤、デフェラシロクス等）を使用している人は、飲む回数を1日1回に減らして開始します。

●どのように飲むか？

コップ1杯程度の水またはぬるま湯と一緒に飲んでください。

●飲み忘れた場合の対応

決して2回分を一度に飲まないでください。気がついた時すぐに1回分飲んでください。ただし、次の使用時間が間近の場合は1回とばして、次の時間に1回分飲んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

悪心があらわれる場合があります。

異常を感じたら医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・この薬の使用により肺水腫の症状（息苦しさや息をするときゼーゼー鳴る、咳など）があらわれた場合は、医師または薬剤師に相談してください。
- ・この薬は血管を拡げる働きがあるため、これによる影響を受ける可能性がある状態（降圧剤使用中、安静時低血圧、血液量減少、重度の左室流出路閉塞、自律神経機能障害など）にないか、確認した上で使用されます。
- ・甲状腺機能異常があらわれることがあるので、この薬の使用中は、必要に応じて甲状腺機能検査が行われます。
- ・意識障害（意識の低下、意識の消失）などがあらわれることがあるので、自動車の運転などの危険を伴う機械の操作を行う場合には、十分に理解できるまで説明を受けてください。
- ・妊婦または妊娠している可能性のある人は医師に相談してください。
- ・授乳している人は医師に相談してください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を使用していることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意いただきたい重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
低血圧 ていけつあつ	脱力感、めまい、ふらつき、立ちくらみ、意識の消失 [起立性低血圧の場合] 脱力感、めまい、ふらつき、立ちくらみ、気を失う
出血 しゅっけつ	出血 [鼻出血の場合] 鼻血 [網膜出血の場合] 視界の中に見づらい部分がある、視力の低下、目のかすみ、小さいゴミのようなものがみえる症状の悪化
甲状腺機能異常 こうじょうせんきのういじょう	[甲状腺機能低下症の場合] 疲れやすい、まぶたが腫れぼったい、寒がり、体重が増える、いつも眠たい、便秘、かすれ声、脱毛 [甲状腺機能亢進症の場合] 動悸(どうき)、脈が速くなる、手指のふるえ、体重が減る、汗をかきやすい、イライラする、微熱

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	脱力感、ふらつき、出血、疲れやすい、寒がり、体重が増える、体重が減る、汗をかきやすい、微熱
頭部	めまい、立ちくらみ、意識の消失、気を失う、いつも眠たい、脱毛、イライラする
顔面	鼻血
眼	視界の中に見づらい部分がある、視力の低下、目のかすみ、小さいゴミのようなものがみえる症状の悪化、まぶたが腫れぼったい
口や喉	かすれ声
胸部	動悸
手・足	脈が速くなる、手指のふるえ
便	便秘

【この薬の形は？】

販売名	ウプトラビ錠 0.2mg	ウプトラビ錠 0.4mg	ウプトラビ錠 0.8mg
形状	円形のフィルムコーティング錠 	円形のフィルムコーティング錠 	円形のフィルムコーティング錠 
PTP シート			
直径	7.1mm	7.1mm	7.1mm
厚さ	3.4mm	3.4mm	3.4mm
重さ	140mg	140mg	140mg
色	黄色	淡赤褐色	白色
識別コード	 261	 262	 263

【この薬に含まれているのは？】

販売名	ウプトラビ錠 0.2mg	ウプトラビ錠 0.4mg	ウプトラビ錠 0.8mg
有効成分	セレキシパグ	セレキシパグ	セレキシパグ
添加剤	黄色三二酸化鉄、カルナウバロウ、酸化チタン、ステアリン酸マグネシウム、トウモロコシデンプン、ヒドロキシプロピルセルロース、ヒプロメロース、プロピレングリコール、D-マンニトール	黄色三二酸化鉄、カルナウバロウ、酸化チタン、三二酸化鉄、ステアリン酸マグネシウム、トウモロコシデンプン、ヒドロキシプロピルセルロース、ヒプロメロース、プロピレングリコール、D-マンニトール	黄色三二酸化鉄、カルナウバロウ、酸化チタン、ステアリン酸マグネシウム、トウモロコシデンプン、ヒドロキシプロピルセルロース、ヒプロメロース、プロピレングリコール、D-マンニトール

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：日本新薬株式会社（<https://www.nippon-shinyaku.co.jp/>）

製品情報担当

電話番号：0120-321-822

（一般の方・患者様向け）

受付時間：9時～17時30分

（土、日、祝日、その他当社の休業日を除く）